

令和5年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会 報告

令和5年9月21日（木）、地域学校協働活動及び学校運営協議会関係者や社会教育関係者、小・中学校教職員等を対象に、令和5年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会を開催しました。

今年度は福知山公立大学地域経営学部 准教授 杉岡 秀紀 様に講演と演習をお世話になり、「熟議」を軸とした研修を行いました。

講演では様々な視点から地域への関わり方について考える機会となりました。また、演習では「学校-地域団体間でよりよい『話し合い（熟議）文化』を広げる（深める）ためのアイデアを出しましょう」というテーマで「熟議」を体験しました。参加者は、「熟議」の必要性などを学ぶとともに、学校と地域の協働について当事者意識をもって「熟議」をする姿が見られました。

この研修会をとおして、子どもたちを心豊かで健やかに育む環境づくりが管内に広がっていくことを期待します。

《感想》

- ・データをもとに、今の地域の状況を教えていただいた。魅力的な地域をどう継承していくか、地域の皆様と子どもたちと学校とで熟議を重ねたい。
- ・今回の講演や演習をとおして、参画することや参画による有用感を感じる機会を生み出していくことが、改めて大切であると感じ、そのために熟議は重要だと感じた。
- ・まちづくり、学校づくり、子どもたちの将来を含め、考えさせられる点がたくさんある講演だった。学校運営協議会の今後の会議にも、熟議の視点を生かしていきたいと思った。

